

ハリーン通信 Vol. 25

不法投棄を許さない地域づくり



不法投棄防止地区の活動紹介 ～三木市西奥地区～

・・・P. 2

～加東市やしろ台地区～

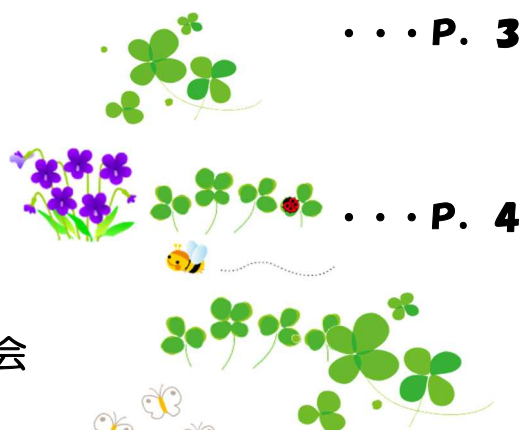
不法投棄防止監視カメラ設置状況

・・・P. 3

環境学習の取り組み

団体の取り組み

ホントにゴミ？ ゴミからお宝発見！
リサイクルツアーに出かけよう



・・・P. 4

ひょうご環境保全連絡会北播磨支部 研修会

環境学習の取り組み



県立三木山森林公園で環境体験学習

加西市立泉小学校

・・・P. 5

寄稿



特定非営利活動法人 三木自然愛好会の活動紹介
理事長 北村 健 さん

・・・P. 6

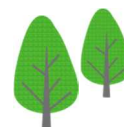
おすすめ! 北播磨の自然



清水 東条湖 立杭 県立自然公園 播州清水寺へ！

・・・P. 7

環境保全の取り組み・市町の取り組み・お知らせ



『水辺を美しくする運動啓発ポスターコンクール』を実施しています

加西市が温暖化対策の「世界首長誓約/日本」に署名しました

ハリーン通信がインターネットで見られます

・・・P. 8

平成31年3月1日発行 兵庫県北播磨県民局 県民交流室 環境課

〒673-1431 兵庫県加東市社字西柿1075-2

TEL: 0795-42-5111 (内線341) FAX: 0795-42-7535

H P: http://web.pref.hyogo.jp/area/n_harima/index.html

ハリーン通信では、みなさんからの投稿、ご意見、ご感想をお待ちしています！
ぜひ、事務局までお寄せください！





不法投棄防止地区の紹介 ～三木市西奥地区～

三木市吉川町西奥地区は中国自動車道、吉川インターから神戸市に続く国道428号横の木々に囲まれた山あいの自然豊かな場所にあります。

地区内の道路はカーブが多く、以前は見とおしの悪い所や枝道、ゴルフ場につながる道の横で不法投棄がありました。「夜のうちに家のすぐ横に家電や廃材を捨てられて、朝に発見したことがあります。」と吉田区長。

不法投棄防止の看板や監視カメラを地区内の死角になる場所に設置したり、草刈りや掃除をして不法投棄をさせない環境づくりがなされた今は、不法投棄は無くなったとのこと。

平成30年夏の豪雨で地区内の道路や山が複数崩れ、復旧にはまだ時間がかかりそうとのこと。地域の安全と安心のため、早い復旧を願います。



不法投棄防止地区の紹介 ～加東市やしろ台地区～



加東市やしろ台は加東市のほぼ真ん中に位置します。国道372号をはさんで南東には三草山と、ため池としては兵庫県第2位の貯水量を誇る昭和池があります。



やしろ台は、中心に数曾寺池があり、自然を大切に生活されている地区です。

「この池の水がとても美しい色で、ぜひ皆さんに知らせたいです。大きな不法投棄はありませんが、食べ物の容器や袋が捨ててあって、みんなで清掃をしていました。」と小浪自治会長のお話。不法投棄防止の立て看板や監視カメラを活用しつつ、不要な木や枝を切ったり、落葉の清掃をしたり、環境整備が続けられています。地区の入口にある清掃が行き届いたごみ収集場を見て、常に地域の美化に努力されていると感じました。「お散歩やウォーキングに来る人たちの、ちょっと休める場所を作ろうかと思って！」とご自宅横に『憩いの場』を製作中のうれしそうな自治会長の笑顔が印象的でした。



ごみの収集場



不法投棄防止監視カメラ設置状況



北播磨県民局では、平成27年度より移動式監視カメラを整備し、不法投棄の防止に向け貸し出しを行っています。

平成30年度のカメラ設置状況をお知らせします。



加西市島地区

加西市島地区では、農業倉庫の横に家電、木材の廃材、食べ物や飲み物のごみの不法投棄があったため、監視カメラを設置しました。



小野市復井地区では、県道の道路脇で空き缶や、食べ物のごみの不法投棄が多く、地区の方々が清掃をしていましたが、減少しないので、監視カメラを設置しました。

今回の2地区は、監視カメラの設置により、不法投棄は無くなりました。

カメラ設置(貸し出し)にあたっては、一定の条件を満たす必要がありますが、不法投棄にお悩みの際は北播磨県民局環境課までご相談ください。



不法投棄防止活動の輪が広がっています！



北播磨県民局では不法投棄防止に意欲的に取り組む自治会を「不法投棄防止地区」に指定するとともに、活動の中心的な役割を担っていただく方を「不法投棄防止活動推進員」として、県民局長が委嘱をし、監視活動等をお願いしています。

今年度も8月10日に小野市うるおい交流館エクラにて、不法投棄防止活動推進員委嘱式・研修会を開催しました。

平成30年11月現在、
不法投棄防止地区272地区、
推進員総数は766名
です。



県民局長から委嘱状を交付



環境学習の取り組み



ホントにゴミ？

ゴミからお宝発見！ リサイクルツアーに出かけよう



北播磨県民局では、今年度も、（公財）ひょうご環境創造協会と協力して、北播磨管内の小学4～6年生と保護者を対象に、廃棄物の削減やリサイクルに積極的に取り組んでいる地域の事業所を見学するツアーを4回実施しました。その中の1つを紹介します。

ロイヤルオートパーツ株式会社



ロイヤルオートパーツ株式会社は使用済みの自動車を100%リサイクル、再資源化している企業です。工場に集めた自動車が、部品を取り外されながら解体されていく様子を見学しました。



車のエアバッグの装置を作動させ、膨らませる。この時の大きな音にはビックリ！驚きの声があがりました。ドアやタイヤなどは手作業でひとつひとつ取り外しながらねじも回収。小さな物も無駄にしないことに感心しました。最後には、大きな自動車が重機で押しつぶされ、小さなかたまりになりました。これらの車の部品はさまざまな国でリサイクルされ、新たな自動車や他の製品に生まれ変わっているそうです。



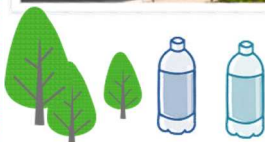
団体の取り組み

H30ひょうご環境保全連絡会北播磨支部 研修



平成30年10月15日『サントリー天然水奥大山ブナの森工場』（鳥取県）への視察研修を行いました。

同工場は中国地方の最高峰『大山』の南壁、岡山との県境に位置します。ブナの木が生い茂る森が広がり、水を育む自然環境に恵まれた場所です。雨水や雪どけ水がブナの森の土壌に浸透し、20年の長い歳月を経ておいしい水になります。



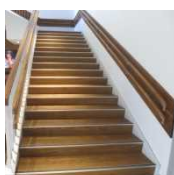
森の保全に努める自然共生型の同工場では、環境に適した液化天然ガス（LNG）の使用や廃熱を回収して有効利用する蓄熱システムを取り入れたり、冬場の積雪を『雪室』に貯蔵。冷たいエネルギーを夏場の空調や生産設備の冷却源に利用しています。



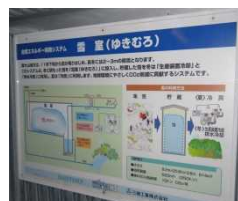
液化天然ガス
(LNG)



省資源
省エネルギー



階段や手すりも間伐材



雪室



冬は、雪がここにいっぱいになります

高原の自然を感じながら、有意義な1日を過ごすことができました。



兵庫県立三木山森林公園は「人と森林との共生」をテーマに整備された森林公園です。自然の中で森の生き物とふれあい、森の大切さを感じる場所として、県内外の学校の環境学習に活用されています。

11月初旬に行われた、加西市立泉小学校3年生の環境体験学習『自然観察とクラフト体験』を紹介します。

秋晴れの日、泉小学校3年生19人の児童が三木山森林公園に到着しました。森のクラフト館前であいさつ。自然観察の諸注意を聞き、指導者の紹介を受けました。

そして、2班に分かれて自然観察に出発。



ヘルメットをかぶり、出発！
木々の紅葉が始まっています。



木や草花の名前。特徴。小鳥や虫などの生き物のこと、写真を見ながらの説明もありました。



「じゅすだま」



落ちたどんぐりから
芽が出たものが・・・



こだまが・・・「ヤッホ！」

自然観察の中で、種が風や生き物に運ばれて芽を出し、育っていく仕組みや、いろいろな木や植物の名前、特徴を知りました。秋の七草も覚えめました。また、ウルシ類など、触ってはいけないものも教えてもらいました。山登りも平気。元気いっぱいの3年生でした。

さあ、午後からはクラフト体験です

まず、クラフトの材料を集めました。木の実、枝、いろいろな色や種類の違う葉っぱ。探してきた材料を使って作品を作りました。初めて使うグルーガン。砂絵も体験。素晴らしい作品が出来上がりました。どれも力作です。



最後に今日の感想を発表しました。「探検や工作が楽しかった。」「グルーガンが使えて良かった。」「大きな葉っぱをみつけた。」などなど。たくさんの感想が出ました。

最後まで元気いっぱいの3年生でした。





NPO 法人三木自然愛好研究会の活動紹介



【三木自然愛好研究会の概要】

理事長 北村 健
副理事長 横山法次、植田吉則

三木自然愛好研究会は、三木の貴重な自然を守ろうと平成9年3月に発足し、平成22年にNPO法人化しました。現在の会員は89名で略称は「三愛研」です。

自然体験、環境教育、環境保全活動などの事業を通じて生物多様性と環境保全への理解を深め、豊かな人間性を育むことを目的として活動しています。

【増田ふるさと公園の活用】（平成30年の例）



増田ふるさと公園は貴重な動植物が1か所にまとまって見られる珍しい場所で、耕地整理事業で失われようとしていたところ



ろを三木市が買い上げて公園として残りました。平成30年は年間7回の公開観察会を行います。また、会員が講師となって豊地小学校の3年生が公園内の生き物について学習し、「増田ふるさと公園里山まつり」で発表しました。

【子供たちを対象にした自然体験学習】（平成30年の例）

まず6月23日に細川町脇川で「水の中の生き物大発見」をテーマに池や川の動物やプランクトンの採集と観察など



を行いました、

8月4日に川遊びと川の生き物の学習をする「親子川がき教室」を御坂サイフォン橋のところで行いました。



平成31年3月9日には「虫の冬越し探検隊」と称して、カブトムシの幼虫を見つけて育てようという行事を三津田のキャンプ場跡地で予定しています。

【三木市に残る貴重種の保護と増殖に対する取り組み】

ギフチョウやササユリの復活作戦及びシジミオモダカ（ホソバヘラオモダカ）やヤブレガサモドキの保全などに取り組んでいます。

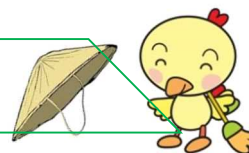
【カレンダー「ふるさと野のこよみ」の制作】

岸本尚美会員が描いた四季折々の美しい植物画を用いたものです。公民館や学校などには無料でお配りしていますが、一般には1枚200円で販売もしています。貴重な動植物を後世に残す取り組みをこれからも息長く続けていこうと思っています。



おすすめ！北播磨の自然

清水 東条湖 立杭 県立自然公園 播州清水寺へ！



清水 東条湖 立杭 県立自然公園は、北播磨地域と阪神・丹波地域の境界部に位置し、三田市・西脇市・篠山市・加東市の4市にまたがって広がる丘陵性の自然公園です。

その中にある播州清水寺を紹介します。

播州清水寺は、歴史的由緒のある西国 25 番札所の山岳寺院です。標高552mの御嶽山頂にあります。車で山頂まで行けますが、今回は、御嶽山登山口から自然を感じながら徒歩で登りました。



ゲートを通して、車でも播州清水寺まで行くことができます。徒歩で登る時はこの手前の駐車場を利用します。



出発！



杖がたくさん置いてありました。地図をみて、気合を入れました。



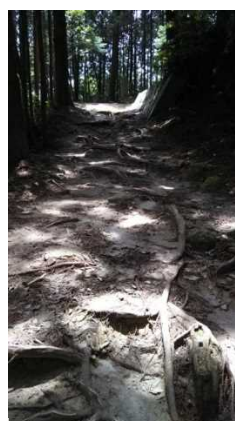
動物防御柵を通って行きます。



低木の緑がきれいです。



スギやヒノキの間を進みます。



木の根や石の道を登って行きます。



途中にあった椎児岩。



登山者を励ますように、立っている？「あと〇丁」の道しるべ。



播州清水寺到着！



お寺を回っているゆるきゃら『いのりちゃん』と出会いました。

播州清水寺では天気の良い時は、山頂から明石海峡大橋や淡路島が見えます。また、春は桜、こぶし、つつじ、しゃくなげ、クリンソウ。秋は紅葉。四季折々の花や木々に出会うことができます。

山の木々の様子や山道、石碑、道しるべに播州清水寺の歴史を感じながら約50分の登山を楽しむことができました。

環境保全の取り組み

『水辺を美しくする運動啓発ポスターコンクール』

こころ豊かな美しい北播磨推進会議と県民局では、東播磨・北播磨の特徴である“水辺”の大切さを広く意識してもらい、その保全と創造を図るため『水辺を美しくする運動啓発ポスターコンクール』を実施しています。

平成 30 年度は北播磨地域から、小中学校 37 校、計 594 点の応募があり 12 月 9 日（日）に開催した「平成 30 年度こころ豊かな美しい東播磨をめざす実践推進大会」で、入賞者を表彰しました。

このポスターは、5ヵ所で巡回展示を実施。北播磨管内ではイオンモール加西北条店とやしろショッピングモール Bio で展示しました。



市町の取り組み



加西市が「世界首長誓約/日本」に署名しました

パリ協定に基づく、地球温暖化対策の目標達成に自治体として貢献する「世界首長誓約/日本」に、加西市が署名しました。全国で 12 番目、兵庫県内では初めてです。

『エネルギーの地産地消など、持続可能なエネルギーの推進』『日本の目標「2030年の温室効果ガス排出量が13年比26%削減」以上を目指す』『気候変動への適応・強靱性の向上』に取り組むことを誓約し、2年以内に行動計画を策定、2年ごとに実施状況を報告します。



式典で西村和平方市長は、「市民と共に何ができるか考えていきたい」と意欲的に話されました。



お知らせ

ハリーン通信がインターネットで見られます



平成 17 年の創刊号から、最新の 25 号までのハリーン通信をインターネットで見ることができます。ぜひ、ご利用ください。

- ①インターネットを立ち上げ、「北播磨県民いきいき情報」と入力し検索
- ②画面右側の分野別情報の『環境』のボタンをクリック
- ③『北はりまエコニュース ハリーン通信』の文字をクリック
- ④見たい号数の文字をクリック

